

産地戦略

実施期間 令和8～12年度

実施主体 鮫川村ゆきの郷土づくり検討会
都道府県 福島県
対象地域 鮫川村
対象品目 水稻



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

● 化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
● 有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

鮫川村は、鮫川村オーガニックビレッジ構想に取り組み、令和7年11月2日に福島県内では3番目、村としては1番目となるオーガニックビレッジ宣言を行った。この構想では2030年までに水稻有機栽培の取組面積を2haに拡大させる目標を立てている。現在、水稻の特別栽培は一定の面積で取り組まれているが、有機栽培の取組は除草等に労力がかかることから一部に留まっている。そこで、水田抑草ロボット、乗用除草機による除草作業の省力化、水管理システムによる水管理の省力化、ラジコン草刈機による畦畔、法面の刈り払い作業の労働負担の軽減について検証し作成した栽培マニュアルを活用して栽培体系を普及させ、構想の実現を目指す。

現在の栽培体系（化学肥料・化学合成農薬（殺菌剤、殺虫剤、除草剤）使用）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	種子消毒 施肥・耕耘	代かき・田植え 除草剤散布	畦畔草刈 水管理	中干し 畦畔草刈	畦畔草刈 カメムシ防除 水管理	畦畔草刈 刈り取り							
技術名	殺菌剤使用 化成肥料使用	殺菌剤使用 化成肥料使用	刈り払い機使用	刈り払い機使用	殺虫剤使用 殺虫剤使用	刈り払い機使用							

グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	種子消毒 施肥・耕耘	代かき	畦畔草刈 水管理	中干し 畦畔草刈	畦畔草刈 水管理	畦畔草刈 刈り取り							
技術名	有機質肥料使用 温湯消毒		抑草ロボット ラジコン草刈り機 乗用除草機	ラジコン草刈り機	ラジコン草刈り機	ラジコン草刈り機							

※抑草ロボット、乗用除草機はいずれかを使用する。使用方法は、マニュアル記載のとおり。

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R7	目標R11	備考
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.6 ▶	2	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0.6 ▶	2	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0.6 ▶	2	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	化学農薬(除草剤) のみの防除	▶ 水田抑草ロボットによる抑草	化学農薬の使用回数の削減 除草剤散布を代替することによる労力の削減
環境 省力	化学農薬(除草剤) と歩行型除草機、 手取除草の組合せ	▶ 乗用除草機による機械除草	化学農薬の使用回数の削減 除草労力の削減
省力	水田の見回りによる水位確認	▶ 水管理システムによる遠隔での水位確認	水位確認の省力化
省力	刈払機、歩行式草刈機による畦畔、法 面除草	▶ ラジコン草刈機による畦畔、法面除草	除草作業の軽労化（労働強度の低下）

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境 省力	化学農薬の使用成分数（成分）	3	▶ 0	殺菌剤 2（種子消毒 1、相処埋 1）、殺虫剤 3（箱刈理 1、カメハシツ）、除草剤 3 ▶ 不使用
省力	水田の水位確認方法	直接目視	▶ 遠隔での確認	
省力	畦畔、法面除草の労働負荷	大	▶ 小	作業者の疲労度軽減
環境	学校給食への有機農業で生産された米の通年提供	0	▶ 通年	栽培期間中、化学肥料・化学合成農薬不使用米

＊環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する

（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

＊化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

鮫川村は令和 7 年11月2日にオーガニックビレッジを宣言し、未来を担う子ども達が鮫川村を誇り、鮫川村で暮らすことに愛着を持ち、心身ともに健やかな成長を支えるため、村ぐるみで安全・安心な農産物の供給と、学校給食をはじめ村民の豊かな食生活の実現を図るため、食育活動に取り組むこととしている。そこで、本事業で作成したマニュアル等を用いて研修会等で広く普及し、栽培技術の向上を図る。

関係者の役割

関係者名	鮫川村ゆきの郷土づくり検討会	福島県県南農林事務所	手まめ館	鮫川村
役割	事業主体	技術の普及・指導	学校給食等への村内産食材の提供	事業のコーディネート

事業を活用して導入した農業機械等の活用面積の目標

農業機械名	作業内容	活用面積（ヘクタール）	備考
乗用除草機 JJ 1	水田除草	0.6	水田面積
ラジコン草刈機 RJ705	畦畔、法面刈り払い	0.6	水田面積

その他